

## PRESS RELEASE

報道関係者各位

2024年3月4日

株式会社セイトロウデザイン

### 【3刷重版】ロジカルシンキングからの脱却を提唱する書籍 『余白思考 アートとデザインのプロがビジネスで大事にしている 「ロジカル」を超える技術』が1万部突破！

株式会社セイトロウデザイン（本社：東京都目黒区）代表取締役、クリエイティブディレクターの山崎晴太郎のビジネス書『余白思考 アートとデザインのプロがビジネスで大事にしている「ロジカル」を超える技術』（2024年1月6日（土）に日経BPより発売）の重版（3刷）が決定、累計発行部数1万部を突破しました。

メディア掲載記事から一部をご紹介します。

――ガチガチに詰め込むのではなく、あえて余白をつくる。そのスタイルを、仕事や人間関係にもいかしてほしい

「夕刊フジ ぴいぷる」（産経新聞社）／「アートディレクター・山崎晴太郎 社会を変えるデザイン力を追求 新しい価値生み出すため生活に“余白、を”インタビューより

<https://www.zakzak.co.jp/article/20240125-7XDIYHSG4ZPITMQ67ZSOBSSTDU/>

――僕が普段セイトロウさんと接していて、そして今回の新刊を読んでもとても共感するのは、「相手の話を受け入れられるスペースをつくっておく」という姿勢です。それが「余白」ということですね。

「日経BOOKプラス」（日本経済新聞社）／『キモは街頭インタビュー 報道番組にも不可欠な「余白」とは』日本テレビ報道局プロデューサーである高橋雅昭氏との対談より

<https://bookplus.nikkei.com/atcl/column/122200332/011100003/index.html>

――自分の余白にポンポン、いろいろなものをつっこんでいるうちに、何かが花開いていくんですね。

「GetNavi」（ワン・パブリッシング）／「クリエイティブディレクター・山崎晴太郎が語るビジネスの流儀「自分のクリエイションにとって大きな武器は余白」インタビューより

<https://getnavi.jp/book/937794/>

――社会と自分との間に、緩衝体のような余白を持って向き合うと、もう少しみんなが生きやすくなるのかなとは思ったりするんです。

「ガジェット通信」（東京産業新聞社）／「初のビジネス書『余白思考』山崎晴太郎インタビュー「毎日心も余裕がなくなっている今の時代だからこそ『余白』の力を活用していただければ」より

<https://getnews.jp/archives/3497135>

本書は、デザイナー・アーティスト・三つの会社を経営する会社経営者・テレビ番組のコメンテーター・三児の父親…と多くの顔を持つ山崎が、仕事や人生を楽しむコツとしての「余白」を、皆さんにも味わい、身につけてもらえたらという思いからまとめた一冊です。余白とは何か、余白のつくり方、余白の活用の仕方、そしてそれによってどんなことが可能になるのかを、山崎自身の体験を交えてお伝えします。

## 【ご案内】

書籍の内容や「余白思考」に関する取材・講演・イベント登壇のご依頼はこちらへ。

### ■想定テーマ

[ビジネス]

- ・VUCA時代を生き抜くために必要な「余白思考」とは
- ・ロジカルシンキングという「枠」から脱却する、「アート思考」「デザイン思考」「デザイン経営」を横断する非言語思考法

- ・「余白思考」を通して、経営・マネジメント・プロジェクトを活性化させる方法

[文化]

- ・欧米文化にはない日本独自の「余白」が人生を変える

[生活]

- ・家庭や対人関係に「余白」を取り入れることで人生を楽しむ方法 など

※「余白思考」は様々なシーンで活用できる手法のため、テーマについてはお気軽にご相談ください。

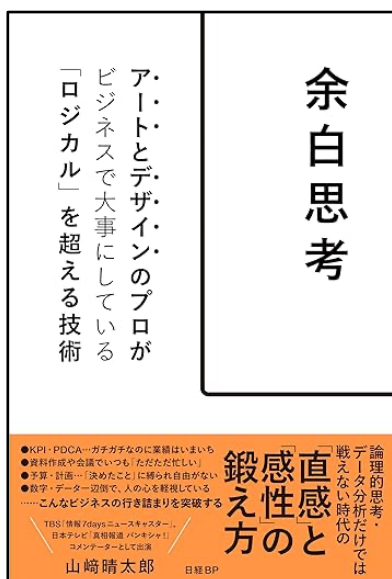
### ■お問合せ先

株式会社セイタロウデザイン 広報担当：小林 明日香、甘樂 未果

[info@seitaro-design.com](mailto:info@seitaro-design.com)

## 【書籍概要】

余白思考 アートとデザインのプロがビジネスで大事にしている「ロジカル」を超える技術



■著者：山崎 晴太郎

■価格：1,760 円（税込）

■発行元：日経 BP

■発売日：2024 年 1 月 6 日

■ページ数：272 ページ

■判型：四六版並製

■ISBN：978-4-296-00177-4

【Amazon ページはこちら】 [amzn.to/3RL7PL7](https://amzn.to/3RL7PL7)

---

## 【内容紹介】論理的思考・データ分析だけでは戦えない時代の「直感」と「感性」の鍛え方

- ・ KPI・PDCA…ガチガチなのに業績はいまいち
  - ・ 資料作成や会議でいつも「ただただ忙しい」
  - ・ 結論や根拠のない話ができる場がない
  - ・ 予算・計画…「決めたこと」に縛られ自由がない
  - ・ メールにチャット…「すぐの返事」が当たり前
  - ・ 数字・データ一辺倒で、人の心を軽視している
- ……ビジネスの行き詰まりを突破するには？

「余白=埋めるもの・まだ何も書かれていないスペース」だと思いませんか？

その発想をやめ、「いかに“いい余白”をつくるか」に考え方を变えること。

それだけで、物事の捉え方・見え方が変わり、思考の幅が広がります。

TBS「情報7days ニュースキャスター」、日本テレビ「真相報道 バンキシャ！」に出演する気鋭のコメンテーターで、アーティスト・デザイナー、経営者の著者が贈る、生産性・業績・処理能力を下げずにクリエイティビティを爆上げする思考法！

### 【著者プロフィール】山崎 晴太郎



クリエイティブディレクター・デザイナー

株式会社セイトロウデザイン 代表取締役

株式会社JMC 取締役兼 CDO

株式会社プラゴ FOUNDER / CDO

立教大学卒。京都芸術大学大学院芸術修士。「社会はデザインで変えることができる」という信念のもと活動。ブランディングを中心に、グラフィック、WEB・空間・プロダクトなどのアートディレクションを手がけ、グッドデザイン賞金賞、IF デザイン賞、アジアデザイン賞など国内外での数多くの賞を受賞。各デザインコンペ審査委員や省庁有識者委員を歴任。2018年より国外を中心にアーティスト活動を開始。個展、グループ展多数。TBS「情報セブンデイズ ニュースキャ

スター」、NTV「バンキシャ！」コメンテーター。主なプロジェクトに、東京2020オリンピック・パラリンピック表彰式、旧奈良監獄利活用基本構想、JR西日本、Starbucks Coffee Japan、広瀬香美、代官山ASOなど。

### 【会社概要】

#### ■セイトロウデザイン

社名：株式会社セイトロウデザイン

設立：2008年10月1日

代表取締役：山崎晴太郎

所在地：東京都目黒区青葉台2-3-1 小杉ビル青葉台2F

事業内容：ブランディング、デザイン事業、映像プロダクション事業

URL：<https://seitaro-design.com>

TEL：03-6417-4874